

公表:令和2年2月28日

事業所名 コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター

チェック項目		はい	わからない 無回答	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0		
	② 職員の配置数は適切であるか	6	0	1		・スタッフが少なく、スタッフの急な休みなどは非番の非常勤スタッフや児童発達支援管理責任者がグループ療育に代わりに入って対応している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	1	・まだ至らない所もあるが、お子さんにとってどんな環境がいいか検討している。	・工夫はしているが充分ではない。 ・それぞれのお子さんの理解や特性に合った環境面の設定や視覚支援をさらに行っていきたい。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	1	・建物自体の築年数が経っているため見た目上の清潔さは難しいが清掃に努めている。	・清潔を保つよう努力はしているが充分ではない。 ・建物の構造的に雨や砂、虫が入ってきやすいため、掃除が必要。 ・排水の匂いがする。 →日々の清掃に加えて、年2回程度大掃除を行う。 ・虫の駆除については薬剤などを使用しない形で検討する。またお子さんが登園する際に虫がいないように朝の清掃などに努める。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	1		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0		
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	1	・オンブズマンによる評価を年2回受けている。	→来年度も継続してオンブズマンによる評価を受けていく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	2	・事例検討や内部研修などを3か月に1回は行っている。	・個々のスタッフに向けた研修制度がない。 →スタッフの専門性の向上のため、内部研修を実施したり、外部研修への参加を推奨していく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	2		・時間を要する作業だが、その時間確保が難しい。 →業務改善を行い、時間を有効に使うこと、また専門職から定期的に意見を伝える場を設ける。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	2		・ヴァインランドはスタッフ側の負担が大きい。 →どういったツールがよいのか検討する。

公表:令和2年2月28日

事業所名 コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター

チェック項目		はい	わからない 無回答	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	・毎日かつ都度密に連絡報告を行っている。 ・日常の記録に個別支援計画がすぐに確認できるようにしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	2	・立案はリーダースタッフ、内容についてはスタッフで検討している。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	1	・子供たちの理解に合わせて同じことを続けて行う場合がある。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0		・時間がもう少し必要
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	1	・できないときはメモを残したり、翌日の朝に打ち合わせを行っている。	・会議など月2回程度は時間の都合上できないときがある。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	2		・業務の都合により記録ができない日も稀にある。 →・翌朝の朝礼時などに前日の様子などを共有している。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	1		

公表:令和2年2月28日

事業所名 コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター

チェック項目		はい	わからない 無回答	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0		
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	・お子さんによって必要な場合は連携している。	
	㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉔ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	・保育所等訪問支援事業を行い移行先との連携を図っている。 ・引継ぎや見学などで情報共有を図っている。	
	㉕ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	・就学時に就学先と情報共有を行っている ・支援シートの作成を行っている	
	㉖ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	・必要があればケース会議を行っている。	
	㉗ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	4		・保育園の園庭を借りているが機会としては少なく、園児同士の交流はない。 →必要に応じて保育園の園庭を借りる際に交流が持てるか検討します。
	㉘ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	2		
	㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0		
	㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	3	・年に何回か勉強会を設けている。 ・プログラムとしてではなく日々の具体的な困り感の共有、成長発達の確認を大事にしている。	・勉強会は行っているが必要な支援は十分とは言えない。 →勉強会に参加しやすいような時間帯やお子さんの預かりなどを検討します。

公表:令和2年2月28日

事業所名 コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター

チェック項目		はい	わからない 無回答	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0		
	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0		
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0		
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	・父母会はないが保護者会などで交流の場を設けている。	・来年度も保護者会や保護者勉強会などの機会を設けていく。また保護者の方が参加しやすいよう、お子さんの預かりなどを都度検討する。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0		・業務の多さにより、スタッフの体制が難しいことがあり、事業所の負担に繋がりがやすい。 →業務改善を行うことと、スタッフ間で情報を共有し、迅速に対応できるような体制を作る。
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	1		
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0		
	③⑨ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	1		・充分ではない。 →スタッフ全員が、マカトンサインを覚え支援に活かしていきます。
④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	4			

公表:令和2年2月28日

事業所名 コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター

チェック項目		はい	わからない 無回答	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	1		・保護者に充分伝わっていない。 ・マニュアルがあるが、保護者に周知はできていない。 ・定期的に避難訓練を行っているがもっと最悪の事態を想定しての訓練や話し合いが必要と思われる。 ・毎月は行えないときもある。 → 避難訓練の実施については来年度も月1回程度実施します。また来年度は引き取り訓練についても実施を検討しています。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	1		・来年度は災害時の対応についてオリエンテーションでの説明やしおりなどを作成します。また引き取り訓練を実施し、災害時の対応について保護者の方に周知していきます。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	1	・利用開始時にお子さんの情報を保護者に書面で提出してもらっている。	・予防接種は充分ではない。 → 年度ごとに書面で確認する。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	4	1	2		
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	2	・都度共有している。 ・事例集はないが、毎日の振り返りで報告している。 ・毎月のクラス会議で確認再発予防を検討している。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	1	・虐待防止という視点ではなく、権利擁護や自己決定支援という視点での話し合いを設けている。	・今年度は分らない。 → 来年度も引き続き、虐待についてや権利擁護、自己決定支援といった勉強会や話し合いの場を設定していく。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	0		

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。